

 TOYO SUISAN  
東洋水産株式会社

東 洋 水 産 か ら 株 主 の 皆 様 へ

# 第66期 中間報告書

証券コード：2875

2013年4月1日～2013年9月30日



**Smiles for All.**

すべては、笑顔のために。





代表取締役社長 おぼた かずお **小畑 一雄**

株主の皆様におかれましては、日頃よりご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

当社第66期第2四半期決算を終えましたので、営業の概況をご報告申し上げます。

## 当中間期の概況（連結）

当中間期におけるわが国経済は、経済・金融政策により円安・株高が進み、企業収益に改善がみられ国内景気は回復の兆しがみえるようになりました。しかしながら、欧米諸国における財政問題等景気を下押しするリスクも存在し、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All.すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減

並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

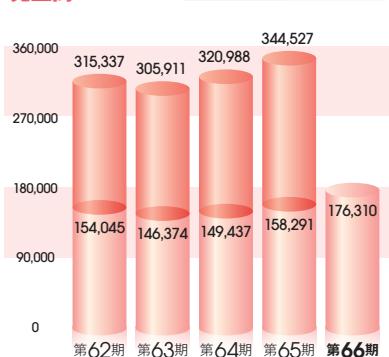
この結果、売上高は 176,310 百万円(前年同四半期比 11.4%増)、営業利益は 13,891 百万円(前年同四半期比 3.6%増)、経常利益は 14,537 百万円(前年同四半期比 3.6%増)、四半期純利益は 11,810 百万円(前年同四半期比 59.2%増)となりました。今後もお客様に信頼される商品・サービスの提供に努める所存であります。

株主の皆様には、引き続き一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2013年12月

## 連結決算ハイライト

売上高(百万円)



経常利益(百万円)



当期純利益(百万円)





## 国内即席麺事業



国内即席麺事業は、袋麺では、4月発売の「マルちゃん正麺 冷し中華」の売上数量が3千万食を超える大ヒットとなり、また8月の「マルちゃん正麺 味噌味」のリニューアル効果により、マルちゃん正麺が累計出荷数5億食を目前にしており(10月4日に達成)、売上と利益に貢献しました。カップ麺では、基幹商品である「赤いぎつねうどん」「緑のためぎ天そば」が最需要期に向け堅調に推移したこと、また、ノンフライカップ麺の「麺づくり」も新フレーバーの発売等が寄与し、大きく伸張したことから、カップ麺全体では順調に推移しました。その結果、売上高は53,748百万円(前年同四半期比9.1%増)、セグメント利益は4,465百万円(前年同四半期比11.0%増)となりました。

## 低温食品事業



低温食品事業は、生麺では主力の3食焼そば類が季節限定品の発売等により順調に推移しました。生ラーメン類は競合品との価格競争により苦戦しましたが、春夏新製品の「ナポリタンスパゲッティ3人前」や、レンジタイプの和風麺が伸張し売上に寄与しました。

冷凍食品類では、市販用が厳しい状況でしたが、業務用が冷凍麺を中心に、新たに惣菜向けの販売強化や外食産業への商品提案活動により堅調に推移しました。その結果、売上高は33,034百万円(前年同四半期比1.7%増)、セグメント利益は1,764百万円(前年同四半期比15.2%減)となりました。

## 加工食品事業



加工食品事業は、主力の米飯製品は無菌米飯を中心に積極的に販売活動を行い増収となりました。フリーズドライ製品はカップ入りや袋入りの製品が順調に推移しました。魚肉ハムソーセージは卸売価格の値下げにより減収となりました。調味料はだしの素や削り節市場が縮小しており減収となりました。その結果、売上高は8,585百万円(前年同四半期比3.0%増)となりましたが、原料米やかつお節等の価格高騰もあり、セグメント損失は103百万円(前年同四半期はセグメント損失26百万円)となりました。

## 海外即席麺事業



海外即席麺事業は、大手量販店との連携強化や、主力製品及び新カテゴリーのヤキソバ、ポウルの積極的な販売活動により、主に中米・南米を中心に販売数量が堅調に推移したこと及び前期と比較した円安の影響により売上高は35,257百万円(前年同四半期比

23.7%増)となりました。セグメント利益は、新カテゴリー導入と積極的な販促活動により販売促進費が増加しましたが、円安の影響により6,206百万円(前年同四半期比7.8%増)となりました。

## 水産食品事業



水産食品事業は、鮭鱒・魚卵・マグロ等主力商品を中心に量販店・コンビニ等に積極的に販売を進めました。しかしながら、国内におけるイカ・サバ・サンマを中心とした漁獲不振により前浜事業の収益を押し下げました。また、円安や海外の鮭鱒・海老等の漁獲不振により原材料価格が上昇し、コスト上昇分を販売価格へ転嫁することができず、売上高は16,203百万円(前年同四半期比1.5%増)、セグメント損失は8百万円(前年同四半期はセグメント利益161百万円)となりました。

## 冷蔵事業



冷蔵事業は、暑夏により夏季商材のアイスクリームの取扱いが順調に推移したことや、円安の影響が心配された輸入品も例年並の荷動きで推移したことで、売上高は7,935百万円(前年同四半期比4.2%増)となりました。セグメント利益は、電力料金の値上げによる動力費の増加等もありましたが、省エネ対策等を実施した結果、762百万円(前年同四半期比5.0%増)となりました。

## その他事業

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は21,569百万円(前年同四半期比34.0%増)、セグメント利益は955百万円(前年同四半期比9.2%減)となりました。

### 事業セグメント別売上高構成比



事業セグメント	構成比	売上高 (百万円)
1. 国内即席麺事業	30.48%	53,748
2. 低温食品事業	18.74%	33,034
3. 加工食品事業	4.87%	8,585
4. 海外即席麺事業	20.0%	35,257
5. 水産食品事業	9.19%	16,203
6. 冷蔵事業	4.50%	7,935
7. その他事業	12.22%	21,569



## 連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期 連結会計期間 2013.9.30	前連結会計年度 2013.3.31	
資産の部	流動資産	156,895	149,361
	現金及び預金	47,984	50,496
	受取手形及び売掛金	44,710	45,948
	繰延税金資産	1,943	1,737
	その他	62,767	51,685
	貸倒引当金	△513	△507
	固定資産	134,671	125,527
	有形固定資産	109,786	102,262
	無形固定資産	2,449	2,349
	投資その他の資産	22,434	20,915
資産合計	291,566	274,889	
負債の部	流動負債	46,959	47,167
	固定負債	19,185	18,550
	負債合計	66,144	65,717
純資産の部	株主資本	214,645	204,586
	資本金	18,969	18,969
	資本剰余金	22,516	22,516
	利益剰余金	181,346	171,246
	自己株式	△8,186	△8,145
	その他の包括利益累計額	△2,714	△5,902
	その他有価証券評価差額金	3,086	2,185
	繰延ヘッジ損益	△2	32
	為替換算調整勘定	△5,798	△8,120
	少数株主持分	13,490	10,487
	純資産合計	225,422	209,172
	負債純資産合計	291,566	274,889

## 連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期 連結累計期間 2013.4.1～2013.9.30	前第2四半期 連結累計期間 2012.4.1～2012.9.30
売上高	176,310	158,291
売上原価	109,950	99,205
売上総利益	66,360	59,085
販売費及び一般管理費	52,468	45,680
営業利益	13,891	13,404
営業外収益	869	872
営業外費用	223	242
経常利益	14,537	14,034
特別利益	3,747	48
特別損失	78	1,148
税金等調整前四半期純利益	18,206	12,934
法人税、住民税及び事業税	6,237	5,416
法人税等調整額	△45	△118
少数株主損益調整前四半期純利益	12,014	7,636
少数株主利益	204	216
四半期純利益	11,810	7,420

## 連結包括利益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期 連結累計期間 2013.4.1～2013.9.30	前第2四半期 連結累計期間 2012.4.1～2012.9.30
少数株主損益調整前四半期純利益	12,014	7,636
その他の包括利益	3,203	△2,264
四半期包括利益	15,218	5,372
(内訳) 親会社株主に係る四半期包括利益	14,998	5,176
少数株主に係る四半期包括利益	219	195

## 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当第2四半期 連結累計期間 2013.4.1～2013.9.30	前第2四半期 連結累計期間 2012.4.1～2012.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,881	14,809
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,533	△11,502
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,408	△2,139
現金及び現金同等物に係る換算差額	717	△741
現金及び現金同等物の増減額	△25,342	425
現金及び現金同等物の期首残高	51,341	39,402
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,998	39,828



# 「マルちゃん正麺」が即席袋麺市場を拡大!!

せいめん



## 累計出荷食数5億食を突破!

「生麺うまいまま製法」により、乾燥麺でありながら生の麺本来の味わいを再現した「マルちゃん正麺」は、これまでの即席袋麺にはなかった革新的なおいしさが高く評価され、発売開始から予想を大きく上回る出荷数を記録しました。発売当初は年間1億食を目標としていましたが、発売1周年を控えた2012年11月5日にその倍となる2億食を達成。その後も順調に数字を伸ばし続け、発売後2年を待たず今年10月4日に5億食を達成しました。当初1ラインだった生産ラインも3ラインに増え、供給体制を整えています。



## 即席袋麺冷し中華市場が3倍に!

即席袋麺の冷し中華市場は昨年まで停滞していましたが、今年4月22日に「マルちゃん正麺 冷し中華」が発売されると一気に市場規模が3倍以上に拡大し、約8割が当社のシェアとなりました。「マルちゃん正麺」のおいしさが市場を大きく拡大しました。



ついに和風麺シリーズ

## 「うどん」「カレーうどん」が登場!

10月7日に「マルちゃん正麺」として初の和風麺となる「うどん」「カレーうどん」を発売しました。麺はラーメン同様「生麺うまいまま製法」を用いながら、うどん専用に材料の配合や製造条件を一から構築し、うどん本来のおいしさを再現しました。チルド麺などと比較し、即席袋麺における和風ジャンルは市場規模が小さいですが、この2品により大きく市場を拡大させることを目指します。

「うどん」のつゆは7種類のだしを合わせて香り豊かに仕上げました。「カレーうどん」のつゆは12種類のスパイスでカレーの本格感を出しながら、辛味を抑えたマイルドな味わいです。





## 会社概要

### 創立

1953年3月25日

### 本社

〒108-8501

東京都港区港南二丁目13番40号

電話 (03)3458-5111(代表)

### 資本金

189億6,952万円

### 従業員数

2,198人

### 事業所数

工場8、冷蔵庫14、

支店・営業所28

### 関係会社

31社(海外9社含む)

## 支店・営業所

- ◆北海道支店 (旭川営業所、函館営業所、帯広営業所)
- ◆東北支店 (仙台営業所、青森営業所、盛岡営業所、秋田営業所、福島営業所、山形営業所)
- ◆信越支店 (新潟営業所、長野営業所)
- ◆北関東支店 (栃木営業所、茨城営業所、群馬営業所)
- ◆東京支店 (東京営業所、千葉営業所、埼玉営業所、神奈川営業所、甲府営業所)
- ◆静岡支店
- ◆名古屋支店 (金沢営業所)
- ◆大阪支店
- ◆中四国支店 (中国営業所、四国営業所)
- ◆福岡支店 (沖縄営業所)

## 冷蔵庫

- ◆札幌冷蔵庫
- ◆石狩冷蔵庫
- ◆大井埠頭冷蔵庫
- ◆平和島冷蔵庫
- ◆城南島冷蔵庫
- ◆東扇島第一冷蔵庫
- ◆東扇島第二冷蔵庫
- ◆東扇島第三冷蔵庫
- ◆名古屋冷蔵庫
- ◆中部物流センター
- ◆神戸冷蔵庫
- ◆舞洲冷蔵庫
- ◆福岡冷蔵庫
- ◆佐賀冷蔵庫

## 役員 (2013年9月30日現在)

代表取締役会長	堤 殷
代表取締役社長	小畑 一雄
専務取締役	吉野 廣治
専務取締役	今村 将也
常務取締役	三浪 博行
常務取締役	山本 和夫
常務取締役	吉村 功
取締役	菅原 謙二
取締役	及川 雅晴
取締役	藤谷 忠
取締役	市島 久夫
取締役	飯塚 修
取締役	住本 憲隆
取締役	沖 斉
取締役	豊田 勉
取締役	真喜屋 理恵子
社外取締役	浜田 とも子
常勤監査役	山下 透
常勤監査役	南 守之
社外監査役	高良 明
社外監査役	森 勇

## 工場

- ◆北海道工場 ◆関東工場 ◆埼玉工場 ◆相模工場 ◆焼津工場 ◆田子工場 ◆神戸工場 ◆福岡工場

## 主要グループ企業

### 国内連結子会社

- ◆八戸東洋株式会社 ◆甲府東洋株式会社 ◆フクシマフーズ株式会社
- ◆宮城東洋株式会社 ◆株式会社酒悦 ◆新東物産株式会社
- ◆伊万里東洋株式会社 ◆株式会社フレッシュダイナー ◆株式会社東京商社
- ◆埼玉東洋株式会社 ◆湘南東洋株式会社 ◆ユタカフーズ株式会社
- ◆銚子東洋株式会社 ◆スルガ東洋株式会社 ◆ミツワデイリー株式会社 ◆株式会社シマヤ

### 海外連結子会社

- ◆MARUCHAN, INC. ◆MARUCHAN VIRGINIA, INC. ◆MARUCHAN TEXAS, INC.
- ◆MARUCHAN DE MEXICO, S.A. de C.V. ◆SANMARU DE MEXICO, S.A. de C.V.
- ◆PAC-MARU, INC.

### 非連結子会社 他

- ◆ヤイズ新東株式会社 ◆東和エステート株式会社
- ◆海南東洋水産有限公司(中国) ◆湛江東洋水産有限公司(中国) ◆青島味豊調味食品有限公司(中国)
- ◆仙波糖化工業株式会社\* ◆下田東水株式会社 ◆株式会社いらご研究所
- ◆ヒガシマルインターナショナル株式会社 \*持分法適用関連会社



## 株式の状況

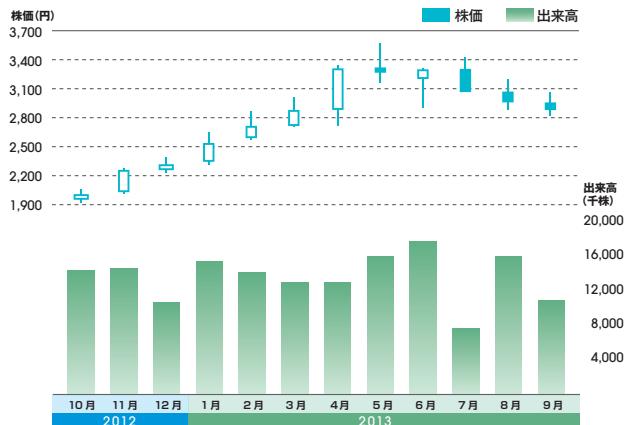
発行可能株式総数…………… 427,000,000 株  
 発行済株式の総数…………… 110,881,044 株  
 株主数…………… 5,717 名

## 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,027	3.94
ノーザントラストカンパニー(エイブイエアシー) サブアカウントアメリカンクライアント	3,926	3.84
ピーイーエチ マنشユースアジア デイビデンド ファンド	3,263	3.19
株式会社三井住友銀行	2,935	2.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,905	2.84
ガバメント オブ シンガポール インベストメント コーポレーション ビー・リミテッド	2,166	2.11
一般財団法人 東和食品研究振興会	2,067	2.02
マルちゃん持株会	1,991	1.94
株式会社櫻本武平商店	1,662	1.62
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505225	1,647	1.61

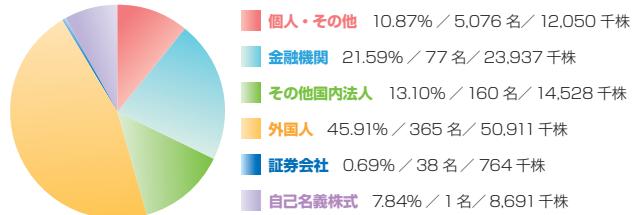
(注) 出資比率は自己株式(8,690,850株)を控除して計算しております。  
 (注) 出資比率は小数点以下第2位未満を四捨五入して計算しております。

## 株価及び売買高の推移 (東京証券取引所)



## 株式分布状況

### 所有者別



### 所有株数別



## 株主優待制度



3,000円相当の製品例

当社では、株主の皆様への利益還元策の一環として、ご所有の株式数に応じて自社製品の詰め合わせを進呈する株主優待制度を導入しています。

今年につきましては、3月未現在、1,000株以上ご所有の株主様に対し3,000円相当の自社製品を、3,000株以上ご所有の株主様に対し5,000円相当の自社製品を、それぞれ6月に進呈させていただきました。

## ●株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	期末配当は3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
公告方法	電子公告 ただし電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 アドレス <a href="http://www.maruchan.co.jp/">http://www.maruchan.co.jp/</a>
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店で行っております。
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)

## ●株式に関する各種手続きについて

### ・住所変更、単元未満株式の買取、配当金受領方法の指定等

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ・特別口座から証券会社の口座への振替申請

特別口座の株式については、単元未満株式の買取請求を除き売買ができません。売買を行う場合は証券会社の口座への振替が必要になります。お手続きの詳細は、上記「株主メモ」記載の電話照会先にご確認ください。

### ・未払配当金の支払請求

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ゆうちょ銀行の貯金口座で配当金をお受取いただけます

配当金の振込先として、銀行等の預金口座に加えて、ゆうちょ銀行の貯金口座もご指定いただけます。

希望される場合は、株主様の口座のある証券会社にお申出ください。特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

 **TOYO SUISAN**  
**東洋水産株式会社**

住所 〒108-8501 東京都港区港南二丁目13番40号  
TEL (03) 3458-5111 (代表)  
ホームページ <http://www.maruchan.co.jp/>



本冊子は、環境保全のため  
再生紙を使用し、植物油インキで  
印刷しています。

## 地域との関わり

各工場では、地域の方と良好な関係を築くため、  
様々な取り組みを行っています。

### 活動の一例

#### ■ 関東工場



関東工場では8  
月に「夏休み親子  
工場見学会」を実  
施しています。

#### ■ 相模工場



相模工場では地  
元の河川や山の  
清掃活動に参加  
しています。

#### ■ 田子工場



田子工場ではカ  
サゴの稚魚放流、  
海岸清掃を実施  
しています。